

《公開シンポジウム》

若者のエンパワメント形成とセカンドチャンスの保障 －スウェーデン・EU の若者政策とユースワークに学ぶ－

開催趣旨

日本社会において、若者は長く当事者不在のまま「若者問題」として捉えられ、社会への影響力を高めるエンパワメントが形成されてこなかったのではないだろうか。一方、EU の若者政策のモデルとされているスウェーデンにおいては、若者を問題としてではなく、「社会のリソース」として認識し、若者の社会への参加とその影響力を高めることを目的とした若者政策とユースワークが広く定着している。その結果、20 代の若者の国政選挙の投票率は、80%を超え続けている。

今回のセミナーでは、スウェーデンと EU の若者政策とユースワークに詳しい両角達平氏を講師に招き、スウェーデンと EU における若者政策とユースワークに学ぶとともに、地域においてユースワークに取り組んでいる機関の代表お二人を招き、日本における若者政策と地域におけるユースワークのあり方、セカンドチャンスの保障のあり方について探ることとしたい。

日時: 2025 年 12 月 6 日(土)
13 時 30 分開会～16 時 40 閉会 (受付 13 時開始)

開催方式: 対面参加とZOOMのオンラインによるハイブリッド

場所: 大正大学 5 号館 3 階 552 教室
東京都豊島区西巣鴨 3-20-1(都営三田線西巣鴨駅徒歩 2 分)

プログラム:

13:00～受付開始

13:30～開会

開会あいさつ 日本地域福祉研究所 理事長 宮城 孝 (法政大学)

13:40～15:00

第Ⅰ部 基調講演

「若者のエンパワメント形成とセカンドチャンスの保障
－スウェーデン・EU の若者政策とユースワークに学ぶ」

日本福祉大学社会福祉学部専任講師 両角 達平 氏

15:00～15:10 休憩

15:10～16:40

第II部 シンポジウム

進行：宮城 孝／コメンテーター：両角 達平 氏

「若者のエンパワメントとセカンドチャンスの保障ーいかに地域で展開するかー」

【実践報告】

豊島区中高生センター ジャンプ東池袋 所長

石葉 友子 氏

ジャンプ東池袋は、中高生が持っている可能性を自ら引き出し、生き活きと活動できる場として、中高生の希望をもとにスポーツや音楽スタジオ、クッキングスタジオなどを設置した。社会性を育み健やかな成長を支援している公設公営の中高生のための居場所。

認定 NPO 法人 さいたまユースサポートネット 代表

青砥 恭 氏

さいたま市を主なフィールドとして、地域との協働で一人の子どもや若者を取り残さない社会をめざし、貧困をはじめとする様々な困難を抱えた子ども・若者に、仲間づくり、学び、仕事、地域づくりなどの支援を多様なプログラムや居場所などによって 10 年以上展開している。

閉会あいさつ

日本地域福祉研究所副理事長 田中 英樹（日本医療大学）

参加費： 正会員(所員):**2,000** 円、一般:**3,000** 円、学生・院生:**1,000** 円
団体(オンラインのみ、5 名まで):**8,000** 円
(6 名以上は、5 名ごとに 5,000 円追加)

申込方法： Google フォームよりお申し込み下さい。メールにて振込先と振り込み期日を送付させていただきます。

URL: <https://forms.gle/YR7SDBPdYN2W9qHv5>

または右の QR コード

※クレジットカード払いをご希望の方は
Peatix よりお申し込みください。



申込締切日： 11 月 30 日(日)

定員： 150 名(先着順)

主催： 特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所
<https://www.jicw.jp/>
TEL: 03-5839-2799 / FAX: 03-5839-2798



特定非営利活動法人
日本地域福祉研究所